

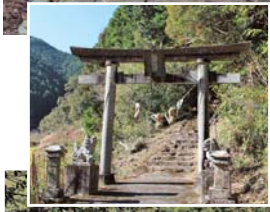
住民の声

御坊畑地区を
お訪ねしました！

御坊畑地区は、大方地域の西部、国道から蛸瀬川沿いの県道337号岡本大方線に入ること2kmほどに位置しています。地区長によると戸数は40戸ほど、人口100人ほどの集落で、65歳以上の方が約60人と、高齢化が進んでいるとのことでした。

お伺いした1月初旬には、晴れ渡った青空の下、新春を彩る水仙や野菊が迎えてくれました。毎年、元旦には地区住民有志による「新年

◀ 地域の守り神
「山頭明神社」



▲蛸瀬川沿いの御坊畑地区。沿道にはさまざまな草花が(上2枚)

会」を開催して親睦を図っているとのことでした。

また、地区の事業としては、毎年11月に馬荷や橘川地区とによる「かきせ川地域づくり協議会」により、「地域の秋を楽しむ会」を開催しているとのことでした。



▲「地域の秋を楽しむ会」には地区からの出店も



◀ 「楽しむ会」ウォーキングの「コマ



▲松本区長(左端)の音頭で恒例の新年会が(H29年元日、御坊畑集会所)

松本延三区長の声

当地区は、草花の種類も多いなど自然に恵まれ、また、住民による「花いっぱい活動」も行われるなど住環境がよい地区です。

地区の課題としては、地域の活性化を目指して、大方橋川、馬荷地区などと集落活動センターを今年4月開所に向け、準備をしています。また、県道岡本大方線の拡幅・改良なども大きい課題で、周辺地区と共に取り組んでいるところです。

更には、きし豆入りのお茶やまやし麦の生産、学問の神様「イサカイさん」など、昔からのものの復活も考えています。

議会や行政への一言ですが、高齢化の進む中、頑張っている当地区の課題解決に向けて、より一層の取組みをお願いします。

編集後記

平成28年もあっという間に過ぎ去り、新しい年の幕開けとなりました。今年はどうなるのでしょうか。世界ではトランプアメリカ新大統領の動向がどのように影響するのか皆に注目されています。少なからず、我が国にも影響が出てくることでしょう。

黒潮町は、高校生の世界津波サミットの活躍が報道され、我々も多いに若者の活力と熱意に刺激を受けました。

広報委員会も国内外の情報を感知しつつ、皆様により慕われる広報編集を続けたいと思います。本年もよろしくお願いたします。

(山崎正男)

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 藤本 岩義
- 委員 浅野 修一
- 同 池内 弘道
- 同 宮地 葉子
- 同 山崎 正男

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/> → 黒潮町の紹介 → 議会 → 議会だより → バックナンバー

■ 発行人 高知県黒潮町議会
■ 編集 黒潮町議会広報常任委員会
■ 住所 高知県幡多郡黒潮町入野 2019-1

■ 発行日 平成29年2月1日

TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)